

す ぺ り あ 佐 屋

—誰にでも快適なマンションをめざし—

《発行》平成23年(2011年)5月1日
 《発行者》スペリア佐屋管理組合理事長
 ホームページアドレス
<http://www.superior-saya.com/>

<項目>

- 1、第12回定期総会開催
- 2、平成23年度管理組合役員
- 3、平成23年度イベントについて
- 4、愛犬家の方へ
- 5、義援金について
- 6、災害について

1、第12回定期総会開催

3月27日(日)第12回定期総会を開催しました。
 以下の議案を提案し決議内容の通り全て可決しました。

- 第1号議案 大規模修繕の件
- 第2号議案 「地上デジタル放送対策及び電波障害対策について」の件
- 第3号議案 「地上デジタル放送対策費及び電波障害対策費について」の件
- 第4号議案 第12期決算承認の件
- 第5号議案 第13期予算(案)承認の件
追加議案として、損害保険に地震保険を追加する件
- 第6号議案 役員選任承認の件

第12回 総会決議	出席者			委任			議決権			合計			決議数	可決
	出席者			議決権			合計							
	反対	保留	賛成	反対	保留	賛成	反対	保留	賛成					
第1号議案														可決
第2号議案														可決
第3号議案														可決
第4号議案														可決
第5号議案														可決
第6号議案														可決

議案の詳細は第12回定期総会議案書の通りです。
 尚、第13期予算(案)の損害保険に関しては、当初地震保険を掛けない予算でしたが、東日本大災害の発生に接し、地震保険に加入する為、予算 円を 円に修正しました。

2、平成23年度管理組合役員

4月3日(日)開催の理事会に於いて平成23年度管理組合役員が次の通り決まりました。

理事長	()	
副理事長	()	コミュニティ部長兼務
副理事長	()	コミュニティ部副部長兼務
副理事長	()	イベント担当部長兼務
副理事長	()	イベント担当副部長兼務
会計担当理事	()	コミュニティ部会計兼務
事務局長	()	

以上で三役を構成します

コミュニティ部運営委員

コミュニティ	部長	()		
	副部長	()		
	会計	()		
イベント担当	部長	()		
	副部長	()		
	担当	()	()	()
		()	()	
回覧担当	部長	()		
	副部長	()		
資源ゴミ担当	部長	()		
	副部長	()		
	担当	()	()	()
		()	()	()
		()		

3、平成23年度イベントについて

4月17日開催のコミュニティ部総会に於いて、23年度のイベントについて次の様に決まりました。

夏祭り 7月下旬～8月上旬

須依秋祭り 須依地区秋祭りに合わせて例年通りお菓子の配布を行います。

餅つき大会 24年1月

尚、各イベントの詳細については、イベント担当で立案しますので後日報告いたします。

4、愛犬家の方へ

*狂犬病予防法により、生後91日を経過した犬は、一生に一回の登録と、毎年1回の狂犬病予防注射を受けることが義務付けられています。今年も5月に狂犬病の予防注射を愛西市で実施します。詳しくは広報「あいさい」を見て下さい。

愛犬家の方は必ず予防注射を受けてください。

マンション管理規約細則「動物飼育細則」では狂犬病予防注射の控えを管理組合に提出すると規定されていますので提出をお願いいたします。

*「動物飼育細則」には、犬・猫を飼育する場合は管理組合に所定の届けをすることが決められています。届けの未提出の住戸は必ず提出して飼育して下さい。

*犬の散歩での糞の処理は愛犬家の責任です。必ず始末して下さい。

5、義援金

東日本大災害の義援金を募りましたが、皆様のご厚意で 円集まりました。
4月8日、中日新聞社会事業団に送金しました。

6、災害について

「災害は忘れたころにやってくる」といわれます。

戦後の大震災としては、昭和34年（1959年）には、「伊勢湾台風」で5098名の尊い命が奪われ、平成7年（1995年）には「阪神・神戸大震災」で6433名の命が奪われたことはまだ記憶に新しい事です。

東日本大震災では、3万人近い死者・行方不明者が出ています。

当地方でも、東海・東南海地震、南海地震の発生がいつ起きてもおかしくないと言われています。3月30日付の「中日新聞」では東海地震が30年以内に87%の確率で起こり、それをきっかけに東南海、南海地震が連動する恐れがあると指摘されています。規模はM8.7級と推定され、東海・近畿及び四国地方で、揺れと火災で1万数千人、津波で1万人弱が死亡するとみられている。だが東日本大震災から「想定以上に被害が大きくなると考えた方がいい、どんな事態になるか想像ができない」と警告している。この様なことが起きない事を祈るばかりです。

もし地震が発生したらなにをすべきか。防災アドバイザーの山村武彦氏は地震の最優先課題として「地震！火を消せ」であったが釧路沖地震（1993年1月）で火傷による負傷者が圧倒的に多く、その結果「地震！！まず身の安全、そして火を消せ」に訂正された。今の石油ストーブ、ガスコンロ等は地震の揺れを感じたら自動的に消火する装置がセットされている。そして、山村氏の過去の地震災害の調査から、「地震の揺れを感じたら、直ちに安全ゾーンに移動する」としている。

安全ゾーンとはなにか、建物の損傷の少ない場所で、ガラスが飛散せず、転倒落下物の少ない安全な閉じ込められないスペースとしている。これは淡路神戸大震災をはじめとして、過去に地震災害現場を沢山見てきたが、発生時間にかかわらず死傷者の大部分が室内であった。つまり全体から見ると室内は危険地帯といえるからです。

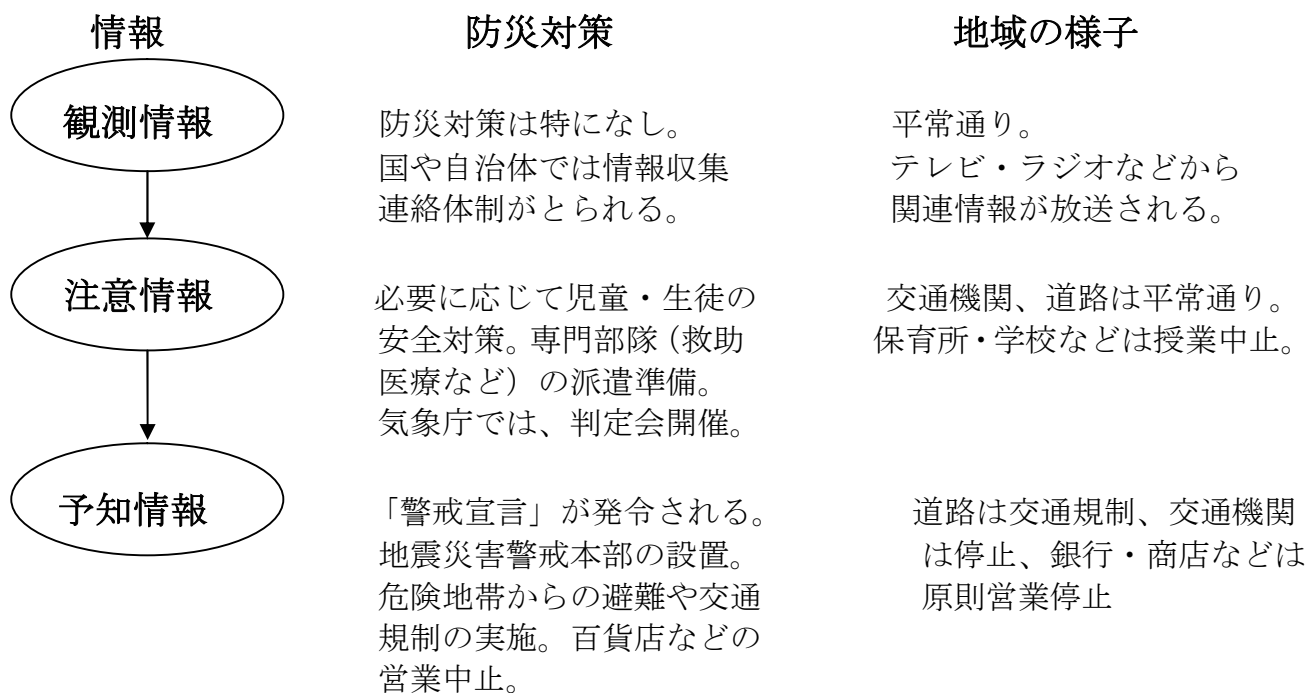
淡路阪神大震災は早朝5時46分のこともあるだろうが、死者の83.3%は建物の下敷きや家具の転倒によるものであった。

地震の揺れを感じたり、緊急地震速報を見たり聞いたら、閉じ込められない安全ゾーンに移動する。そして揺れが収まってから、さらに安全な外部の避難場所等に避難する。2階以上にいたら、閉じ込められないように部屋から出て階段室やエレベーターホール等落下物少ない安全ゾーンで揺れが収まるのを待ってから避難する。日頃からうちの安全ゾーンはどこかを常に考えて置くことが必要である。と述べている。

「地震イコール机の下」ではなく、三手先を読むと「地震！直ちに安全ゾーン」が「防災の新常識」である。と結んでいる。

東海地震関連情報

東海地震の前兆現象の可能性が高まったことを知らせる情報は、気象庁から次の様に発表されます。



注意！！

これは、あくまでも東海地震が予知された時の情報であり、注意情報・予知情報が発表されないまま地震が発生することがあるので、日ごろからの防災対策が必要です。東日本大災害では注意情報・予知情報はありませんでした。また「緊急地震速報」後地震発生まで地域により差がありますが、約10秒で地震が発生しました。

4月度理事会

日 時 4月3日（日） 午後8時～9時
出席 ○ 委任 △ 欠席 ×

南西館			南東館			東館		

5月度理事会

5月15日(日)の予定です。